

大規模園芸ハウス団地 「下山添のきゅうり」

大規模園芸ハウス団地できゅうり栽培

庄内唯一のきゅうりの産地である鶴岡市榴引地域で、農業を営む佐藤正紀さんは、令和2年度に完成したハウス団地できゅうりを栽培している。佐藤さんは以前から別な場所のハウスできゅうり栽培を行っていたが、施設の老朽化や連作障害もあり、新しくハウスを整備したいと考えた。

ハウス整備と現在

新たにハウスを整備するにあたって、きゅうりの生産が縮小していることもあり、庄内たがわ農協が主体となって進められた。庄内たがわ農協では、きゅうりの販売目標金額を設定し、生産基盤強化に取組む支援チームを立ち上げた。県もそのチームに加わり、各分野で指導・助言を行った。農地はもともと5枚の田を1枚にまとめた。また、水路や農業用井戸など整備し、耕作条件の改善を図った。

ハウスは、関連事業で整備し、換気、給水システムの導入も行った。庄内たがわ農協では、きゅうりの画像選果機械も導入し、高品質のきゅうり団地を目指している。

この団地は1.3 haにハウスが18棟整備され、5人の耕作者がいる。すべてのハウスできゅうりを栽培しており、年間250t以上を庄内たがわ農協に出荷している。

佐藤さんは、施設が新しくなり、栽培や管理がしやすくなり、おいしいきゅうりを栽培してきたいと抱負を語ってくれた。



きゅうりを収穫する佐藤さん



整備前



整備完了

大規模園芸ハウス団地ができるまで



整地工



排水路工



農業用井戸設置



暗渠排水工

～．．．～．．．～．．．～きゅうりの栽培状況～．．．～．．．～．．．～

ハウス団地では、年2回収穫している。

1回目…3月中旬定植、7月上旬まで収穫

2回目…7月下旬定植、11月中旬まで収穫

栽培して3年目になり、佐藤さんはいろいろな品種を栽培し、このハウスに適した品種を探している。講習会にも積極的に参加し、品質向上に取り組んでいる。



つるおろし栽培

収穫されたきゅうり



選果場も新しく！素早く選別し、出荷へ！



きゅうり画像選果機

きゅうりの曲がりや画像で判別して規格ごとに選別。選別後は、1つ1つ丁寧に箱詰めされる。



箱詰め



きゅうりを選別する選果場も事業を活用して新しく整備した。きゅうりの画像選果機を配置し、各農家が行っていた選別をすべて庄内たがわ農協で実施している。

この地域で収穫されたきゅうりは約8割が地元で、約2割が首都圏で販売されている。鶴岡市内の学校給食にも使われており、地元の食も支えている。